



市長記者会見

令和5年12月25日



いわき市

案 件

公共交通の維持・確保に向けて

～いわき公共交通緊急プラン！～

本日の説明内容

1 改善に向けた今後の方向性

- 広域多角型都市構造の本市では、他都市と比較しても、自家用車の利用が突出
- 利用者減少 ⇒ 公共交通の衰退 ⇒ 公共交通の利便性低下 といった悪循環



これまで以上にスピード感を持って地域交通の確保等を進める
【～令和7年度：実証実験 令和8年度～：社会実装】

- ・ 既存の公共交通の維持に向けた事業者への支援強化
- ・ 公共交通利用促進を呼びかけ
- ・ 市内の公共交通不便地域等において、具体的な移動手段の構築

2 取り組みについて

利用促進への取組み

- ① バスロケーションシステム、地域連携ICカードの導入
- ② 路線バス・タクシーにおけるプレミアム付き回数券等の販売支援
- ③ エコ通勤の促進
- ④ 鉄道利用促進に向けた取組

公共交通不便地域解消に向けた各地区の取組み事例

- ① 久之浜・大久、四倉地区 定額タクシーの実証運行
- ② 川前地区NPOに自家用有償旅客運送

《5年後の目標》

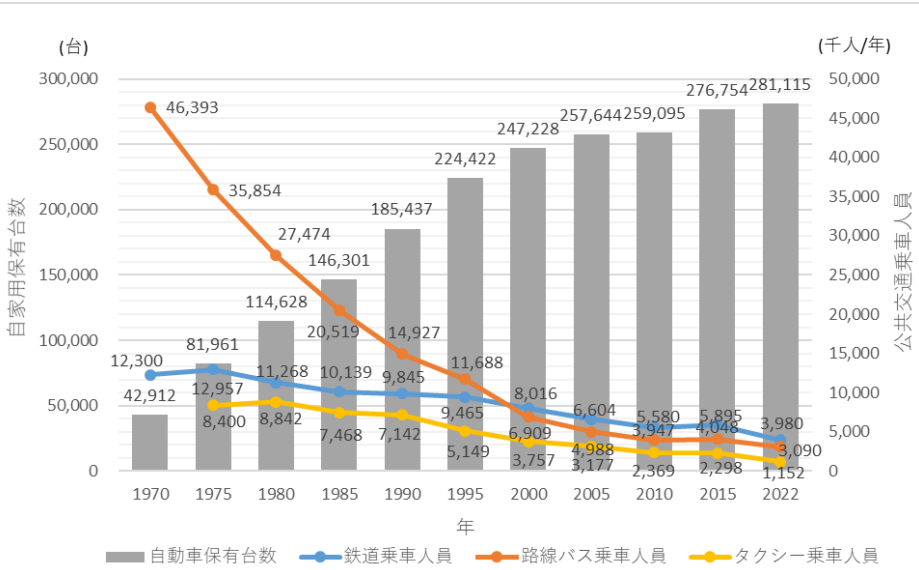
◆路線バスの主要な幹線系統の利用者数
現状 約68万人/年
将来 約70万人/年

◆鉄道交通利用者数
現状 約1.1万人/日
将来 約1.3万人/日

◆中山間地域等の移動手段確保地区数
現状 2地区
将来 6地区以上

本市における公共交通の現状

① 公共交通利用者数の減少



項目	昭和50年 (1975年)	令和2年 (2022年)
自家用車保有台数	約 8.2万台 約0.25台/人 1台/家	約 28.1万台 約0.86台/人 1台/人
公共交通利用者数	約15.6万人/日	約2.2万人/日

② 通勤・通学における自家用車分担率の割合増

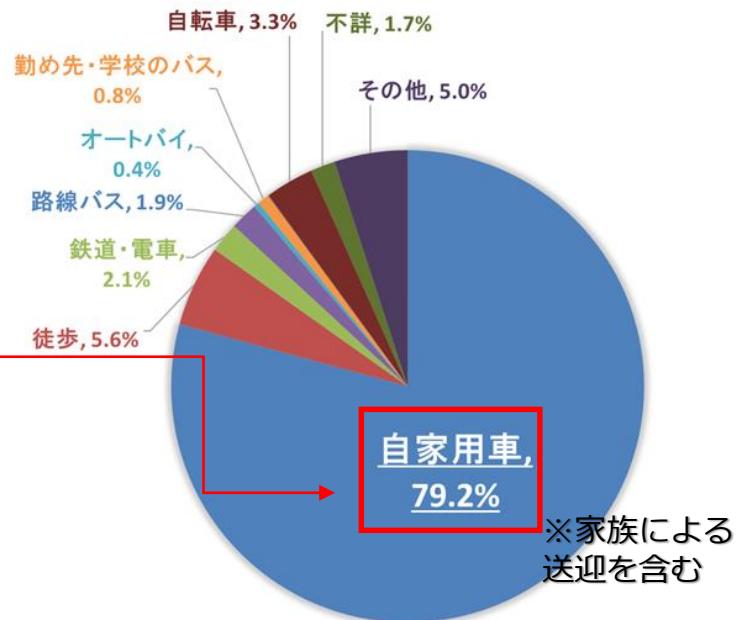
市民の日常生活における交通手段は、
自家用車が大半を占めている (約 79.2%)

➔ **中核市の中では第1位** ※中核市平均 (50.1%)

表 常住地による15歳以上自宅外就業者・通学者の割合

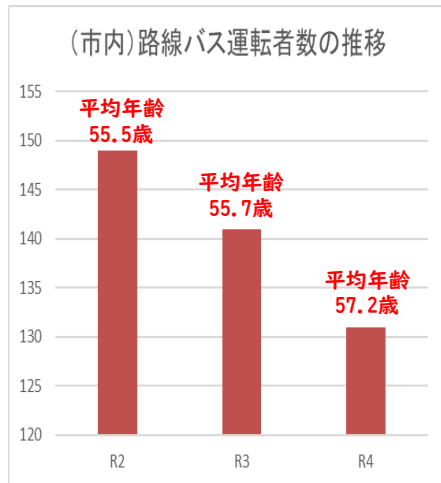
順位	都市名	自家用車分担率
1位	いわき市	79.2%
2位	福井市	74.1%
3位	八戸市	73.9%
4位	前橋市	73.8%

出典：令和2年国勢調査

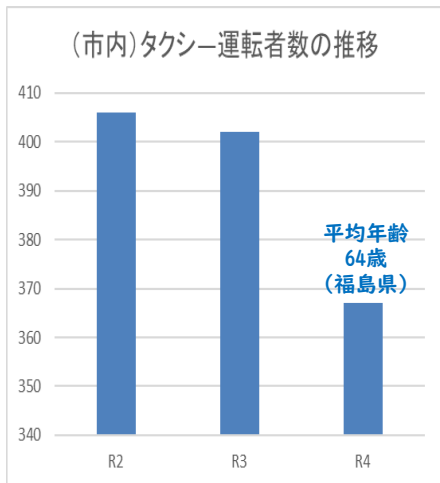


本市における公共交通の現状

③ 運転手の状況・2024年問題への対応

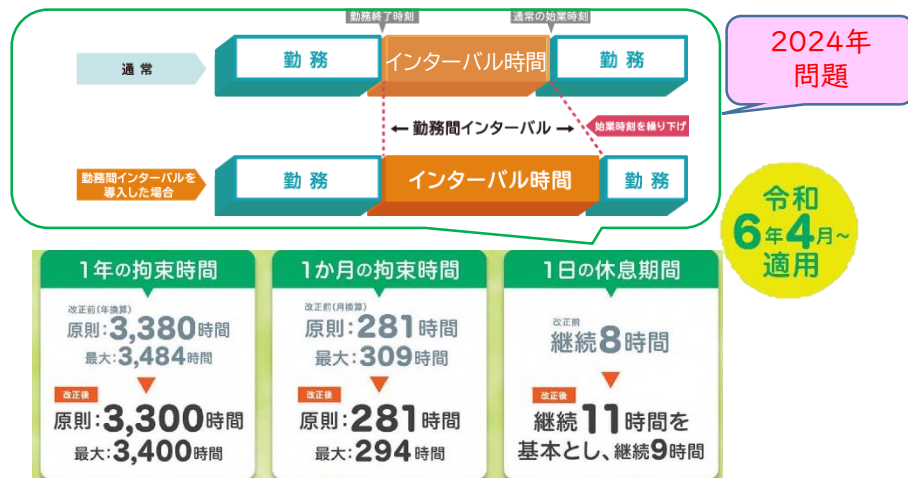


出典：新常磐交通(株)



出典：福島県タクシー協会

自動車運転者の労働時間等の改善のための基準改正 (R4. 12. 3発布)



出典：国交省、厚労省

④ 磐越東線の経営状況



令和5年11月にJR東日本は、令和4年度における『利用の少ない線区 (平均通過人員2千人未満)』経営状況を公表。

路線	区間	平均通過人員 (令和4年度)	収支 (令和4年度)
磐越東線	いわき～小野新町	203人/日	▲7.26億円

出典：JR東日本

※平均通過人員：1日1kmあたりの人数

【平均通過人員】 = 【各路線の年度内の旅客輸送人キロ】

÷ 【当該路線の年度内営業キロ】 ÷ 【年度内営業日数】

- 黄線: 1,000人/日以上～2,000人/日未満の区間
- 橙線: 500人/日以上～1,000人/日未満の区間
- 赤線: 500人/日未満の区間

利用促進への取組み

① 路線バスへのバスロケーションシステム・地域連携ICカードの導入支援

バスロケーションシステムの導入 令和6年2月 運用開始

GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、**携帯電話やパソコンを通じて情報提供する**システムを導入

1. バスロケ専用サイト

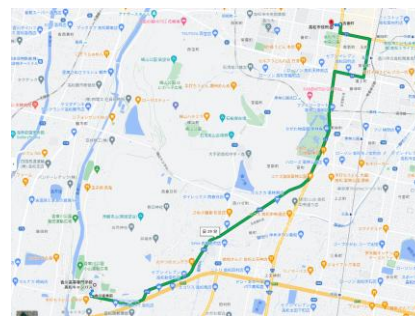
路線検索、**バスの現在地**、**運行状況(遅れ)**等の情報収集、時刻表検索、**路線のお気に入り登録**
【日常使いに便利な機能】



出典：ことでんバス「どこにIruCaなび」

2. 地図アプリとのデータ連携

Google Map等のアプリで路線検索が可能となり、**鉄道ーバスの乗継**も表示
【インバウンドを含む来訪者にも便利】



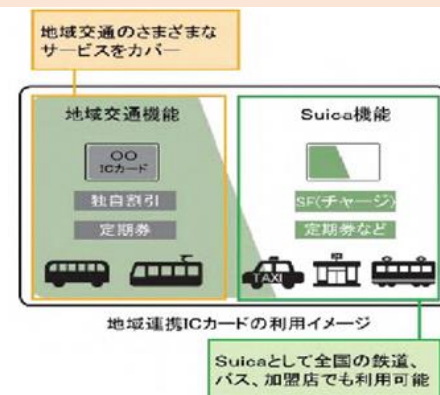
出典：GoogleMap

地域連携ICカードの導入 令和6年春頃 運用開始

《地域連携ICカード》

Suica (鉄道乗車券、電子マネー) + 路線バス (乗車券等) の2 in 1 カード

- ・バスや電車、買い物などが1枚のカードで利用可能
- ・小銭の出し入れや両替が不要になり、運賃の支払いがスムーズ
- ・路線バスを利用した際に路線バスで利用可能なポイントが貯まる
- ・定期券、乗車券などの乗車券を1枚にまとめることが可能



出典：JR東日本

利用促進への取組み

② プレミアム付き回数券等の発売支援（令和5年12月補正予算）

公共交通利用者回復のため、市内公共交通事業者等が実施する**プレミアム付き乗車回数券等**を**発行**する取組みに要する費用の一部を補助。

対象事業者		プレミアム	発行部数	支援額
バス事業者	乗合（路線）	3,000円 \geq 5,400円相当 (premium ¥2,400)	10,000	24,000千円
タクシー事業者	一般	5,000円 \geq 7,500円相当 (premium ¥2,500)	10,000	25,000千円

販売期間（予定）：令和6年1月下旬 ～ 令和6年3月末 まで

利用期間（予定）：令和6年1月下旬 ～ 令和6年9月末 まで

詳細は、交通事業者より発表されます。

《image》

路線バス



市内路線バスで
利用可能な
乗車回数券

出典：新常磐交通(株)

《image》

タクシー



市内タクシーで
利用可能な
乗車回数券

出典：福島県タクシー協会いわき支部

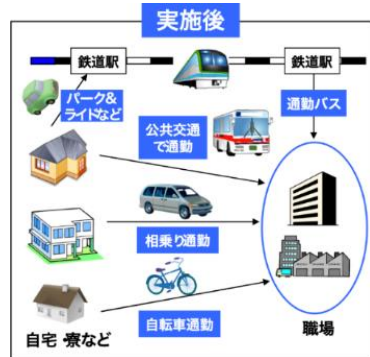
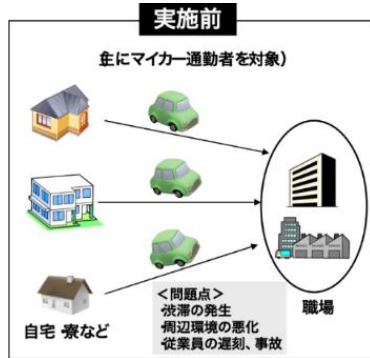
利用促進への取組み

③ エコ通勤の促進

- 「クルマから、環境にやさしいエコな通勤手段への転換」を図ることを目的とした国の公共交通利用推進等マネジメント協議会が行っている、**エコ通勤優良事業所認証の普及**に向けて取組む。
- 先ずは、市役所から取組み、市内事業者等に展開。

エコ通勤のメリット

- ① 通勤時間帯の**渋滞緩和**による、地域環境の改善
- ② 公共交通利用者増加による**公共交通サービス水準の向上**
- ③ **CO2排出削減**による地球温暖化防止に寄与
- ④ **健康増進**
- ⑤ 公共交通や環境問題に対する**意識の醸成**



出典：公共交通利用推進等マネジメント協議会

④ 鉄道利用促進に向けた取組み

- これまでの主な実施事業
 - 納涼屋台 (川前町賑わいづくり実行委員会)
 - フォトコンテスト&スタンプラリー (県中地方振興局)
 - J2サッカーとの連携 (いわき市)
 - モンテディオ山形×磐越東線×いわきFC 応援キャンペーン

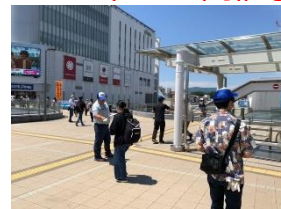
○ 今後の取組み

(磐越東線)

磐越東線活性化対策協議会内に設置した幹事会やワーキンググループ等で検討した利用促進方策を沿線自治体と連携しながら順次、実施する。

(本市独自の取組み)

平成26年に設立した「いわき市鉄道交通を応援する会」による鉄道イベントの実施や啓発活動を強化に加え、磐越東線利用促進のイベント**(R6.2開催予定)**を実施する。



駅前清掃、啓発活動の様子



親子鉄道工作教室・鉄活セミナー



○ その他イベント等の例

サイクルトレイン (磐越東線)を利用して夏井川渓谷沿線のサイクリングコースにチャレンジ!

磐越東線の**魅力**発見

磐越東線



サイクリング



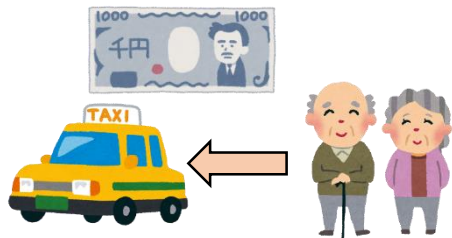
公共交通不便地域解消に向けた各地区の取り組み事例

① 久之浜・大久、四倉地区 定額タクシーの実証運行

事業の概要について

自宅と指定された施設間のタクシー移動が**1,000円**で移動出来ます！

千円での乗車が可能！



例えば

このような利用が出来ます

大久地区⇒四倉駅前での通院・買物
片道 約3,500円を**1,000円**で乗車！

利用期間
(実証期間)

令和6年1月22日(月)～3月17日(日)
午前8時～午後4時までの乗車のみ有効

利用対象者


久之浜・大久地区、四倉地区に居住し、次の**どちらかに該当する方**
●65歳以上の方 ●運転免許証自主返納者


移動の範囲


●主に久之浜・大久地区、四倉地区内の
商業施設、医療機関、金融機関、公共機関等

※生活圏となる地区外の一部施設が含まれます。
※利用回数に制限があります。
※目的地でタクシーを待機させることはできません。

利用の方法について

 **Step 1** 利用者登録を行うため、受付窓口へ電話

 **Step 2** 利用対象者等の確後、認宅に「利用登録証」を郵送

 **Step 3** 利用登録証を運転手に提示することで、最大1000円でタクシーの利用が可能。

受付窓口

いわき市役所
総合交通対策担当
電話:0246-22-1120
(月～金 9時～17時)

公共交通不便地域解消に向けた各地区の取組み事例

② 川前地区NPOに自家用有償旅客運送

○利用方法

電話で予約し、時間、出発地、目的地、
を伝え、当日は予約した時間・出発地
で乗車

○運送区域

いわき市川前町及び小野町
(発地、着地のいずれかが川前町)

○運送しようとする旅客の範囲

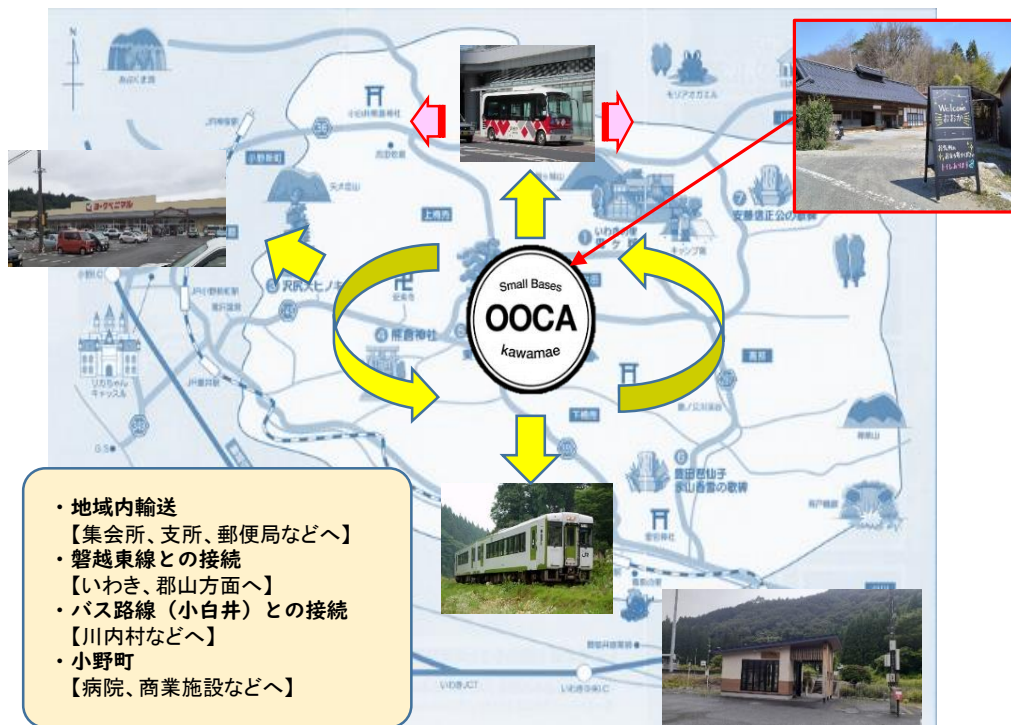
- ・いわき市川前町居住者及び観光旅客
その他川前町を来訪する者
- ただし、来訪者等は川前庁内利用に限る

○旅客から収受する対価

定額制

- | | | | |
|---------|-----|-----------|------------------------|
| ・川前町内利用 | ・・・ | 100円/片道・人 | |
| ・川前町外利用 | ・・・ | 1人での利用 | 2,000円/片道・人 |
| | | 2人での利用 | 1,500円/片道・人 (500円引き) |
| | | 3人以上での利用 | 1,000円/片道・人 (1,000円引き) |

〈事業のイメージ〉



現在、運輸局への申請に向け準備を進め、今年度内の実装を目指す。